

[特集] 紅芋、紫芋、オレンジ芋まで! 初夏は爽やかな飲み心地の紅芋系焼酎で決まり!

たる

[ほろよい手帖]

樽

6

2015 JUNE
TARU No.392

390
yen

35th

おかげさまで
創刊35周年

椎名誠

「巻頭言」酒、ゴコロ、男、ゴコロ

立ち飲みがある町
新山ひろし

今日も酒器日和

平野恵理子

「琳派400年記念連載(下)」

●特別対談 太田達×土佐尚子



今、飲みたい

紅芋系焼酎!

琳派^{りんぱ}400年記念連載(下)

琳派がつなぐもの

●特別対談

太田達さん (有職菓子御調進所〔老松〕主人)

土佐尚子さん (メディアアーティスト、京都大学教授)

4月号より2号に渡って琳派の何たるかについて、太田達さんにご執筆いただいた。最終回の今号は、メディアアーティストの土佐尚子さんと共に、琳派について語ってもらった。



おおたとおる
京都・上七軒に本店を構える有職菓子御調進所〔老松〕主人。
茶人として国内外のVIPに対して茶の湯でもてなすこともしばしば。琳派への造詣も深く、各地で京の歴史文化に関する講演や文化講座等を開催する。工学博士

未来に紡ぐ、琳派の創造

京都国立博物館を会場に「琳派400年記念祭」事業の幕開けをプロジェクトチームで盛大に飾った土佐さん。同館の建物に投映されたのは、デジタル技術を駆使し、未来の琳派を表現したビデオアート「21世紀の風神・雷神伝説」。

太田 プロジェクトチームは「琳派400年記念祭」のスタートに相応しく、21世紀の琳派を表現した、ルネサンスとも言うべき見事な作品でした。

音の振動による液体の動きと生け花が破壊される様子を高速撮影で切り取った作品をはじめ、風神・雷神にちなんだ狂言「神鳴^{かみなり}」など、最新のテクノロジーと伝統芸能を融合した。

3月12〜15日の4日間で延べ1万6000人が来場する盛況ぶりだった。(以下、敬称略)

土佐 ありがとうございます。俵屋宗達、尾形光琳、本阿弥光悦の時代から400年の時空を超えて、私たちがつながっているんだと強く感じられたのは本当に素晴らしいことでした。

太田 琳派の絵師には師匠・弟子の関係がなく、コラボレーションもあるかもしれませんが、

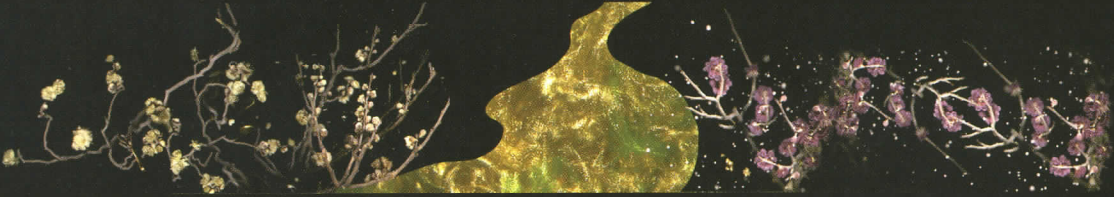
りませんでした。ある意味、閉鎖的な世界であつたとも言えますが、琳派という概念が時代を超えて、うまく結びつきましたね。

土佐 ご参加いただいた華道 未生の流笹岡 家元・笹岡隆甫さんや狂言師の茂山逸平さんたちは、これからの文化を担って行く方々。未来の琳派を創造すべく、皆の思いを形にしたいという目標がありました。

太田 シンガポールで昨年開催された、アートサイエンスミュージアム外壁を使ったプロジェクトは、今回の京都という舞台はいかがでしたか？

土佐 屋外での上映は、建物や風景も作品の一部として取り込むことが出来て、自分が建築家になったような気持ちになります。シンガポールの評価があつたからこそ、今回につながりました。社会的なイベントとして様々な意見がありますが、それら乗り越えて得たものは大きいです。

太田 そういった意味では、家元として流派や伝統を継承する我々の世界は「カルチャー」と捉えると面白みに欠けるかもしれません。ぜひ、和菓子や茶事とのコラボレーションをお願いしたいですね。



上3段:『TOSA RIMPA Projection Mapping@Kyoto』より
「21世紀の風神・雷神伝説」の1シーン。

下段:右より、シンガポールで昨年開催したプロジェクションマッピング「サウンドオブ生け花:四季」の1シーン、『Moon Flower』。

5月に作品集『TOSA RIMPA』(淡交社)刊行。

http://www.tankosha.co.jp/ec/products/detail.php?product_id=1802



土佐 面白いと思います。京都で
やってみたいですね！

見えない世界を映し出す

太田 琳派の作品をテーマにした和菓子
菓子の公募展を創設したところ、驚く
ような具象・抽象作品が集まり、年
々レベルも上がっています。和菓
子は50gほどの小さな立方体です
が、琳派を表現する造形として向
いていると思います。

土佐 和菓子はシニールな映像にな
るんじゃないでしょうか。マッピン
グすると大きな造形に見えますが、
撮影自体は本当に小さなスペースで
行います。小さな対象ほど、大きく
見せると面白くなると思いますし、
ひき締りなんかも面白い表現が出来



とさなおこ

メディアアーティスト、京都大学教授(アートテクノロジー研究)、工学博士(東京大学)。20代半ばでニューヨーク近代美術館の企画展で“New Video Japan”に選ばれ、国際的に知られるようになる。ニューヨーク近代美術館、国立国際美術館に作品がコレクションされている

うです。

太田 流体のモチーフをどのように
表現するか、瞬間で消えるアートと
いう点でも、先生の作品と共通する
ところがありますね。

土佐 CGとよく間違えられるの
ですが、作品には液体を使ってお
り、実際に、ところてんやゼリーに
使う製菓食材を使用することもあり
ます。1秒2000コマのハイス
ピードカメラで、スピーカーによる
音の振動によってツイストする液体
の動画を捉えます。液体が巻いてい
くシーンは、生物の脳や内臓をも彷彿
させます。

太田 自然界の一瞬は、人の手では
創り出せない、神秘の世界ですね。
生け花が破壊されるシーンはどのよ

うに撮影するのですか？

土佐 花をマイナス200℃の液体窒素に入れた後、エアガンで花を打ち碎いています。人の目には見えない自然界の神の手による不可視的現象を発見し、人間が本来持っている魂を呼び覚ますような映像がテーマです。

太田 生け花が魅せる静的な美しさとは違い、躍動美を感じますね。

茶事の空間をマッピング？

土佐 太田さんは、京都を代表する儒者・皆川淇園が創設した学問所・弘道館の保存や再興に向けた取り組みをはじめ、次々と新しいことに取り組みられていますね。

太田 未来に何かを残したいと思っています。和菓子は「名」を持つことにより、「耳で食する」ことが出来るように、「開物学」という学問を創始した皆川淇園は、「名」と「もの」の関連性を追求し、言葉がどう「個体」になるか明らかにしようと試みました。

土佐 あらゆる垣根を取って物事を捉えることができる人が、新しいものの、この世にないものを創り出して



京都・上七軒にある〔老松〕の軒先にて

来ました。価値付けするのは後世の人で、良いものは受け継がれて行く。

太田 和菓子の木型を作る職人がほとんどいなくなっています。自分で掘るようになりましたが、消える必然性がないのに、これまで築かれたものが跡形もなく消えていくことをとても悲しく思います。何か手立てがないものかと。

土佐 私も、コラボレーションを通して、伝統は守っているだけではまずい、その時代に変容したからこそ後世に残るものだと感じました。

太田 サイエンスとカルチャーが熟した今、ブリコラージュが期待されます。

土佐 茶事は「見立て」、ブリコラージュの発想です。

太田 ミニマムな2畳の空間において、「酩酊」から「覚醒」まで、4時間に及ぶ時系列装置を伴う身体アートとも言えます。

土佐 茶事を空間ごとマッピングするのはどうでしょう？

太田 新しい世界が拓けそうです。

土佐 秋頃に京都で！

太田 ぜひ、お願いします。

(*)ブリコラージュ=あり合わせの道具と材料を使い、自分の手で何かを創ること

KIRIN

お中元には、

一番搾りプレミアム

Premium
ギフト
限定



ストップ! 未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはリサイクル。 キリンビール株式会社



雑誌 06035-6

©2015 たる出版(株) Printed in Japan. 印刷所/大阪書籍印刷株式会社



4910060350655
00361